

2019年3月期 第1四半期 決算ハイライト



リそなホールディングス

2018年7月31日

- 本資料における表記、計数の定義は下記の通りです。

関西みらいフィナンシャルグループ経営統合によるりそなホールディングスへの財務影響のご理解に資するよう、**[前同比]**および**[実質前同比]**での計数を記載しております。

[前同比] : 2017/6期におけるHDの連結実績との比較

[実質前同比]・HD連結 : 2017/6期におけるHD、KU、MBの各連結計数を合計したもの(社内管理計数)*との比較
*(「非支配株主に帰属する四半期純利益」においてKU、KO、MB連結の非支配株主持分(48.8%)を調整)

・5行合算 : 2017/6期における5行の各単体計数の合計との比較

[HD] りそなホールディングス、**[RB]** りそな銀行、**[SR]** 埼玉りそな銀行、
[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、**[KU]** 関西アーバン銀行、**[KO]** 近畿大阪銀行、**[MB]** みなと銀行、
[3行] RB、SR、KO、**[5行]** RB、SR、KU、KO、MB

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

2019年3月期第1四半期決算の概要

- **親会社株主に帰属する四半期純利益 : 699億円**
前同比+327億円(+87.8%)、通期目標比進捗率34.9%
 - KMFG統合一時利益(398億円)除き: 300億円
- **業務粗利益 : 1,588億円**
実質前同比△9億円、△0.6%
フィー収益(+31)により預貸金利益減少(△28)をカバーし、略前同水準を確保
 - 貸出金平残: +2.63%、国内預貸金利回り差: △6bp
中小貸が牽引役となり残高増加率は通期計画を超過、利回り推移は通期計画比インライン
 - フィー収益比率: 30.3%
法人ソリューション、住宅ローン関連が全体を牽引
- **経費 : △1,072億円、実質前同比△19億円**
デジタル化推進へのITコスト計上も、通期計画どおり
- **与信費用 : △18億円、実質前同比△84億円**
戻入縮小が減益要因も、通期計画内での進捗

HD連結(億円)	2019/3期 1Q	前同比		《ご参考》 実質前同比	
			増減率		増減率
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (1)	699	+327	+87.8%	+310	+79.8%
1株当たり四半期純利益 (EPS、円) (2)	30.21	+14.16	+88.2%		
1株当たり純資産 (BPS、円) (3)	910.61	+107.12	+13.3%		
業務粗利益 (4)	1,588	+259	+19.5%	△9	△0.6%
資金利益 (5)	1,060	+172		△45	
うち国内預貸金利益*1 (6)	888	+165		△28	
フィー収益 (7)	481	+71		+31	
フィー収益比率 (8)	30.3%	△0.5%		+2.1%	
信託報酬 (9)	46	+3		+3	
役務取引等利益 (10)	434	+68		+28	
その他業務粗利益 (11)	46	+15		+4	
うち債券関係損益(先物込) (12)	△0	+12		+7	
経費(除く銀行臨時処理分) (13)	△1,072	△218	△25.5%	△19	△1.8%
経费率 (14)	67.5%	+3.2%		+1.6%	
実質業務純益 (15)	515	+40	+8.5%	△29	△5.4%
株式等関係損益(先物込) (16)	21	△0		△7	
与信費用 (17)	△18	△87		△84	
その他の臨時・特別損益 (18)	325	+380		+388	
税金等調整前 四半期純利益 (19)	844	+333	+65.1%	+266	+46.1%
税金費用 (20)	△134	+1		+13	
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (21)	△11	△7		+29	

*1. 国内預貸金利益: 5行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む)

*2. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

2018年6月期 損益内訳

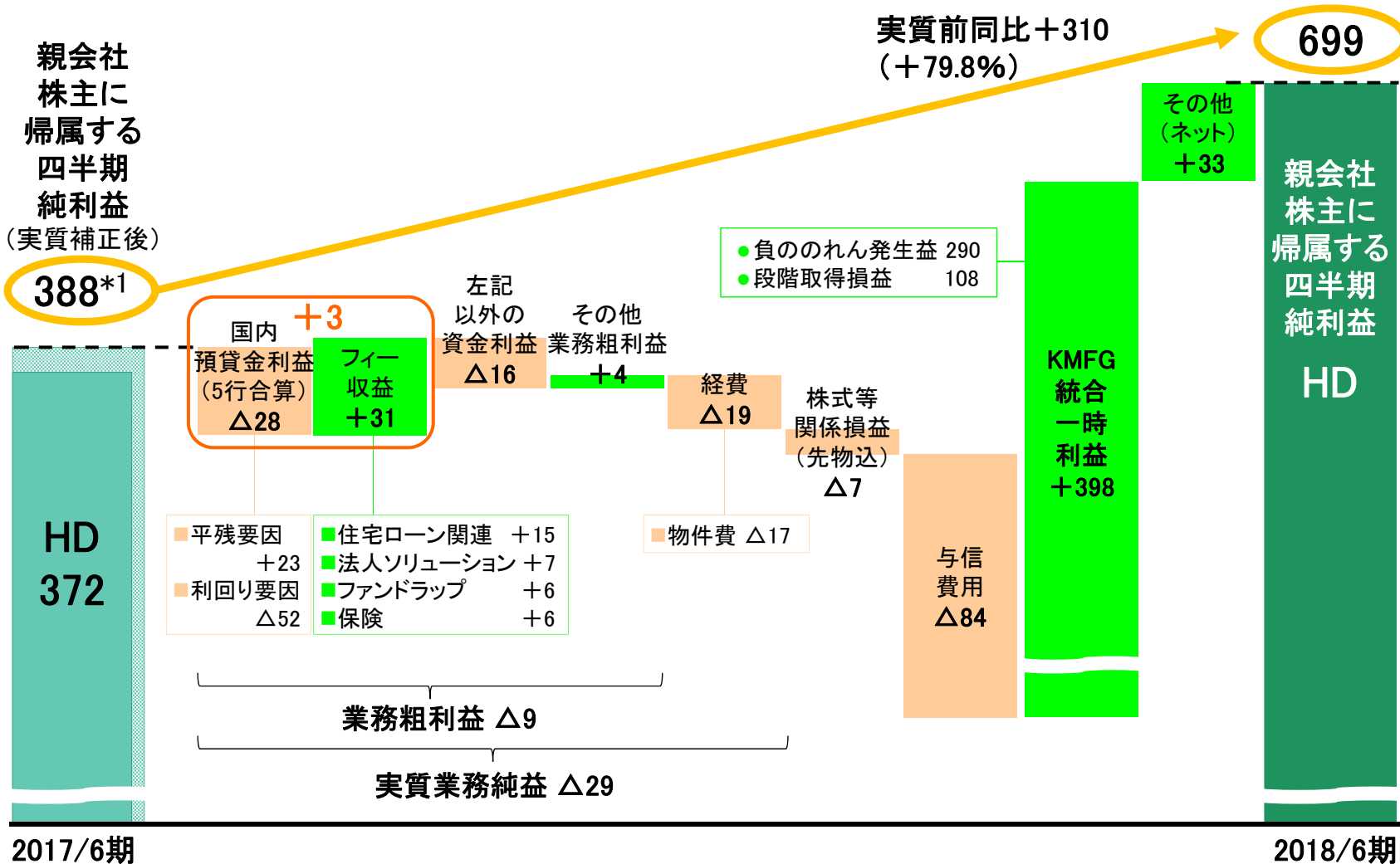
(億円)	HD連結			5行合算			連単差		
	(A)	前同比	《ご参考》 実質前同比 (a)	(B)	《ご参考》 実質前同比 (b)	りそな 銀行	埼玉 りそな 銀行	KMFG 3行 合算	(A)-(B)
業務粗利益 (1)	1,588	+259	△9	1,452	△10	808	307	336	135
資金利益 (2)	1,060	+172	△45	1,050	△42	541	221	287	9
うち国内預貸金利益 (3)				888	△28	446	189	252	
信託報酬 (4)	46	+3	+3	46	+2	46			△0
役務取引等利益 (5)	434	+68	+28	315	+27	196	75	44	119
その他業務粗利益 (6)	46	+15	+4	40	+1	23	11	4	6
うち債券関係損益(先物込) (7)	△0	+12	+7	△2	+5	△9	7	△0	2
経費(除く銀行臨時処理分)*1 (8)	△1,072	△218	△19	△1,010	△12	△535	△188	△286	△62
実質業務純益 (9)	515	+40	△29	442	△23	272	119	50	73
株式等関係損益(先物込) (10)	21	△0	△7	20	△9	20	△5	4	1
与信費用 (11)	△18	△87	△84	14	△58	0	6	8	△33
その他の臨時・特別損益等 (12)	325	+380	+388	△72	△13	△51	△7	△12	397
うちKMFG統合一時利益 (13)	398	+398	+398						398
税引前(税金等調整前) 四半期純利益 (14)	844	+333	+266	405	△105	241	112	50	439
法人税等合計 (15)	△134	+1	+13	△115	+14	△68	△34	△12	△19
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (16)	△11	△7	+29						△11
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益 (17)	699	+327	+310	289	△90	173	77	38	409

*1. 5行合算は、のれん償却額を除く

期間損益の実質前同比増減要因

HD連結

(億円)



*1. 2017/6期におけるHD連結純利益+KU、MB各連結純利益×51.2% - KO連結純利益×(100%-51.2%)

貸出金・預金の平残・利回り

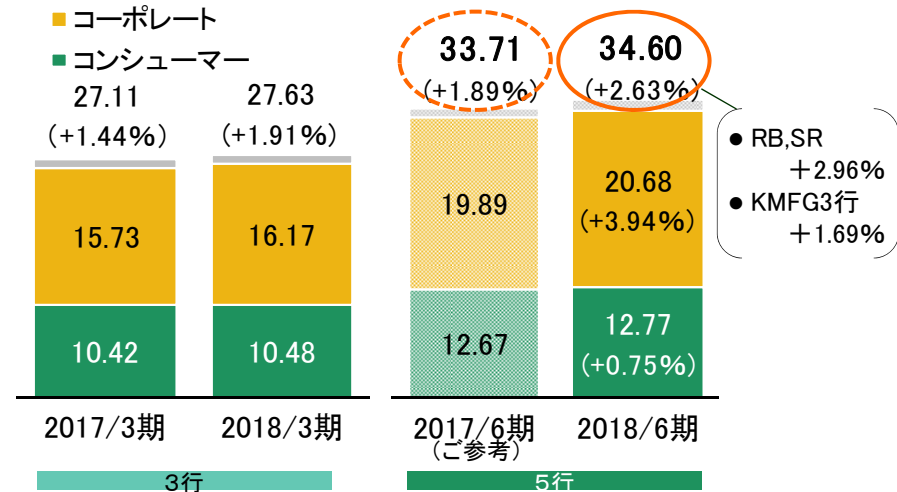
銀行合算

貸出金・預金の平残、利回り、利回り差(国内)

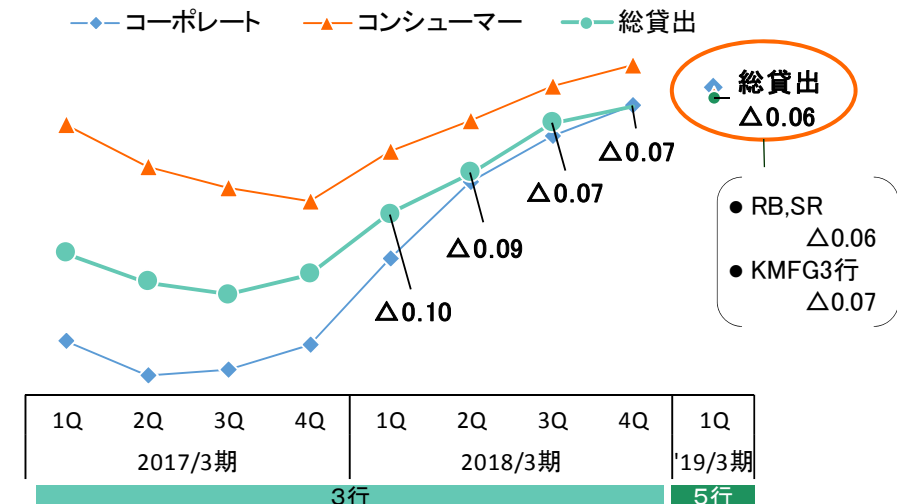
平残:兆円、収益・費用:億円		5行			
		1Q		2019/3期	
		実績	実績 前同比	計画	前期比
貸出金	平残 (1)	34.60	+2.63%	34.59	+1.95%
	利回り (2)	1.05%	△0.06%	1.04%	△0.06%
	収益 (3)	908	△33	3,600	△142
コーポレート 部門(公共除) *1	平残 (4)	20.68	+3.94%	20.66	+2.67%
	利回り (5)	0.90%	△0.06%	0.87%	△0.06%
コンシューマー 部門*2	平残 (6)	12.77	+0.75%	12.79	+0.93%
	利回り (7)	1.35%	△0.06%	1.34%	△0.05%
預金+NCD	平残 (8)	50.47	+4.20%	50.42	+2.66%
	利回り (9)	0.01%	△0.00%	0.01%	△0.00%
	費用 (10)	△20	+4	△89	+5
預貸金	利回り差 (11)	1.03%	△0.06%	1.02%	△0.06%
	利益 (12)	888	△28	3,510	△137

貸出金平残、利回り推移(国内)

【貸出金平残(兆円)】()内は前同比増減率



【貸出金利回り 前同比(%)】



*1. 社内管理計数、コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アpartmentマンションローン
*2. 社内管理計数、コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン

貸出金・預金末残

銀行合算

貸出金末残

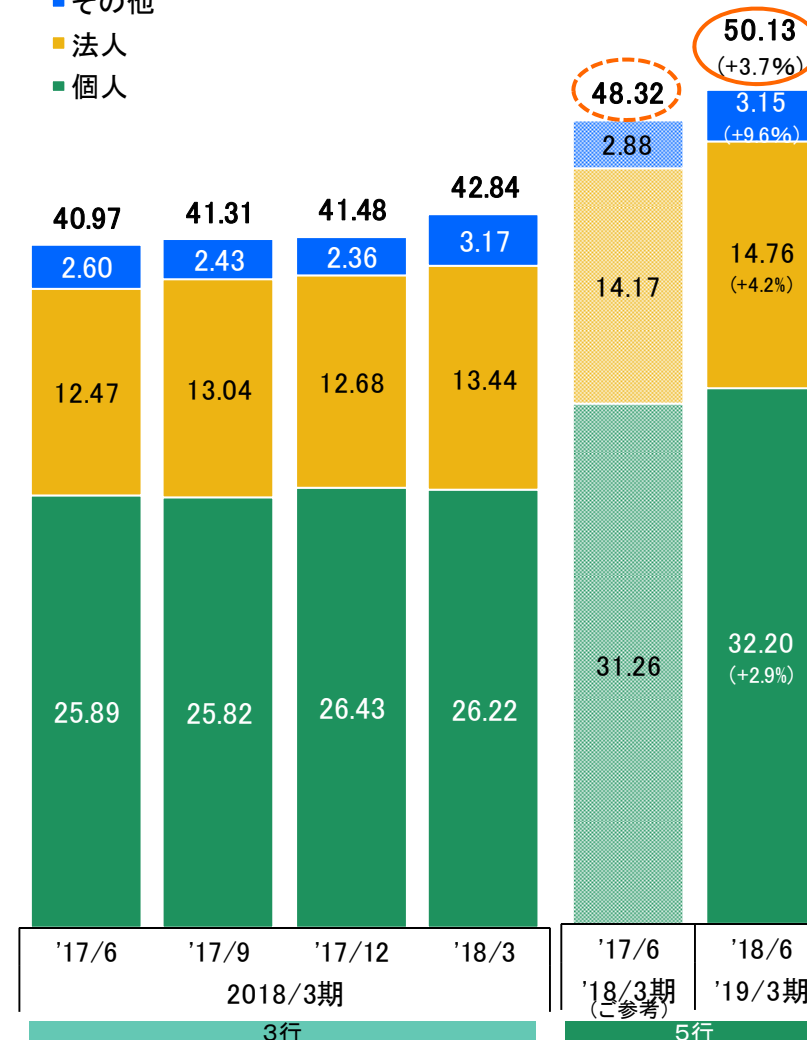
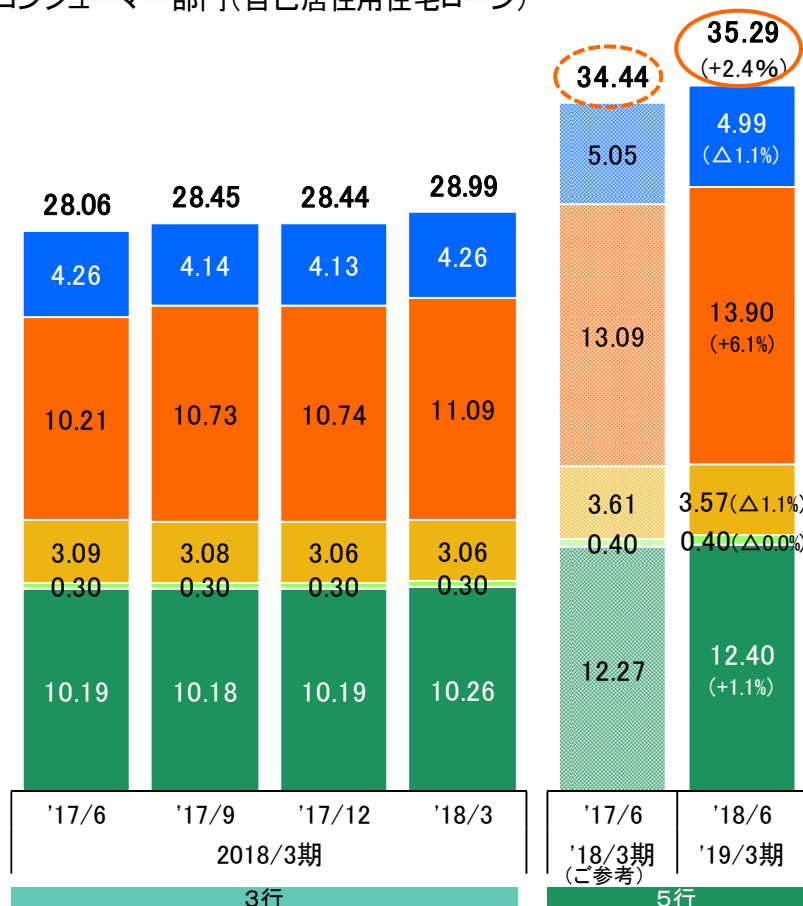
預金末残

兆円、()内は
前同増減率

- コーポレート部門(その他大企業等)*1
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)

兆円、()内は
前同増減率

- その他
- 法人
- 個人



*1. リソナ銀行からHD、KMFGへの貸出を含む

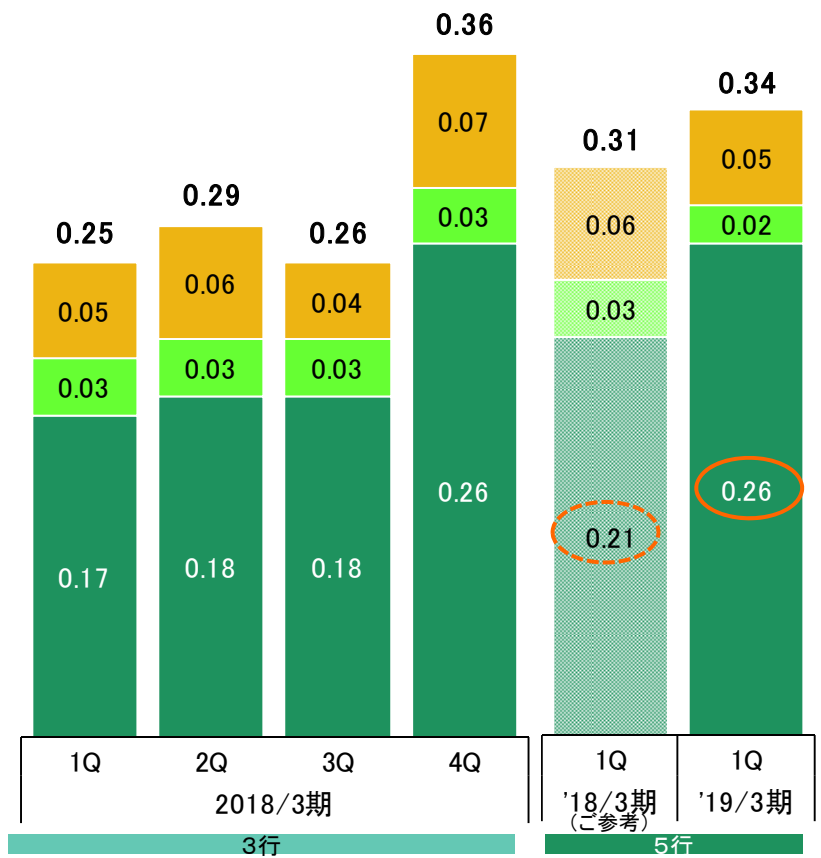
住宅ローンビジネス

銀行合算

住宅ローン実行額

(兆円)

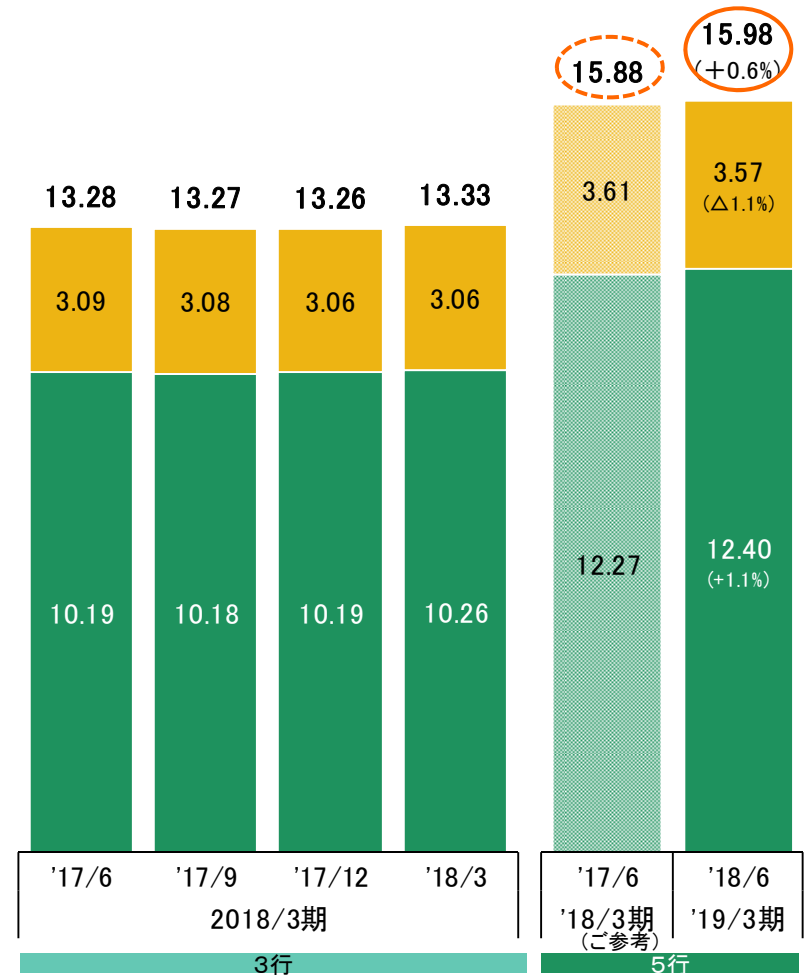
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



住宅ローン未残

兆円、()内は前同増減率

- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン

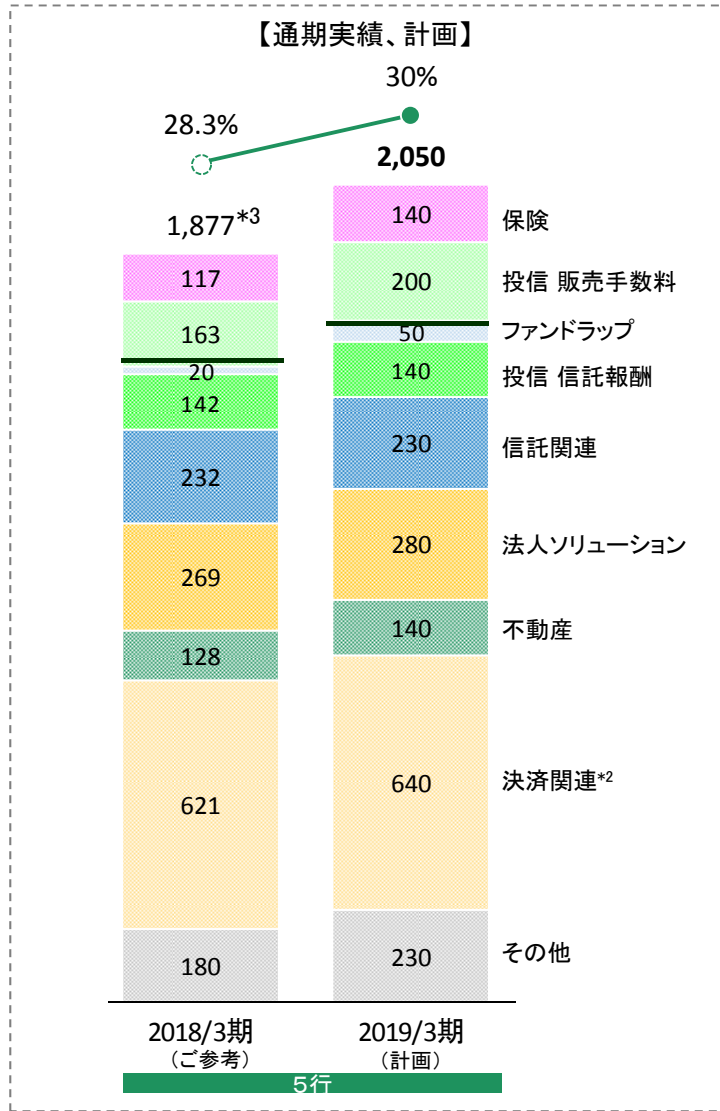
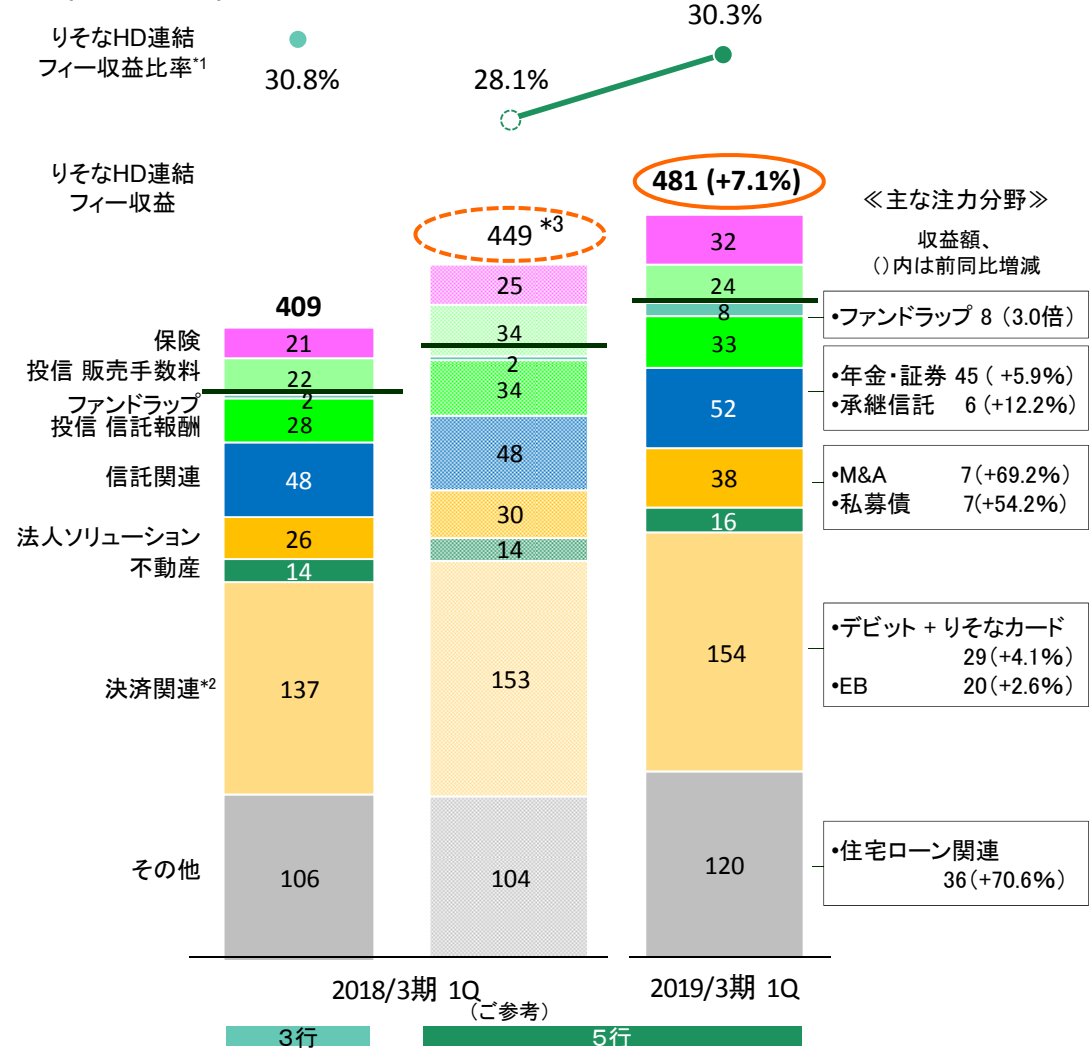


フィー収益

HD連結

2019/3期第1四半期のHD連結フィー収益比率は30.3%

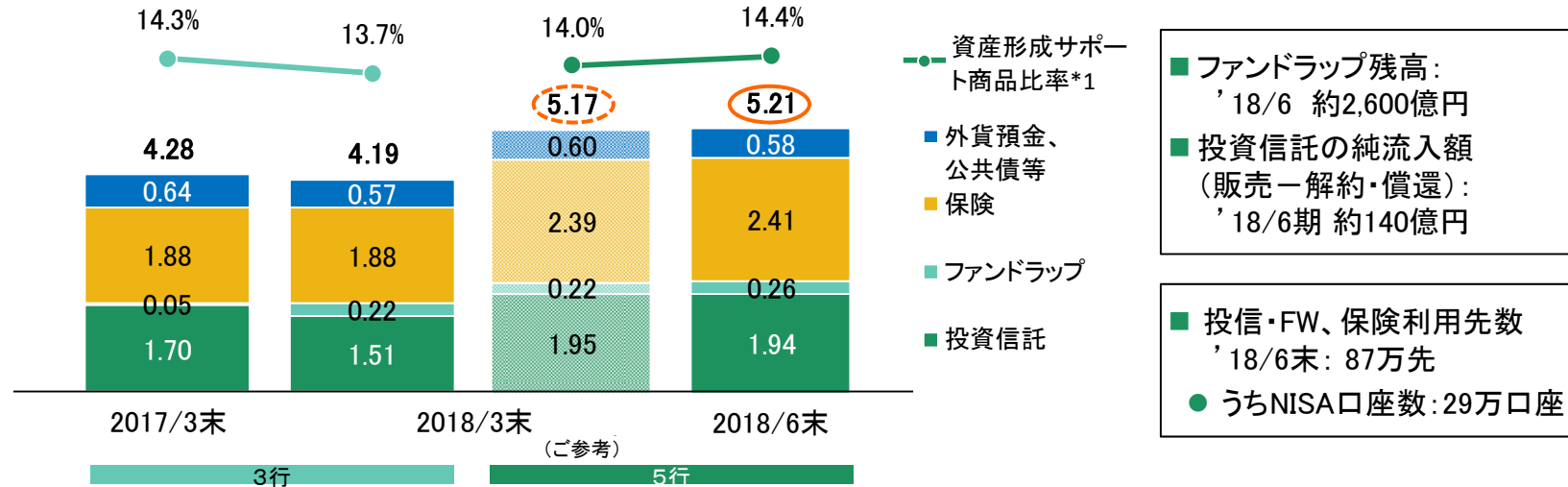
(億円、()内は前同比増減率)



*1. (役務取引等利益+信託報酬) / 業務粗利益 *2. 内為、口振、EB、VISAデビットおよびりそな決済サービス(株)、りそなカード(株)の役務利益 *3. HD、KU、MBの連結役務取引等利益と連結信託報酬を合算

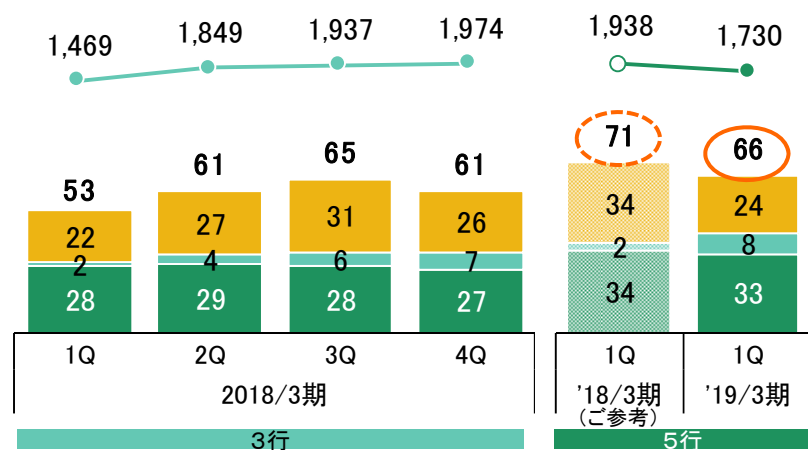
個人向け資産形成サポート商品残高

(兆円)



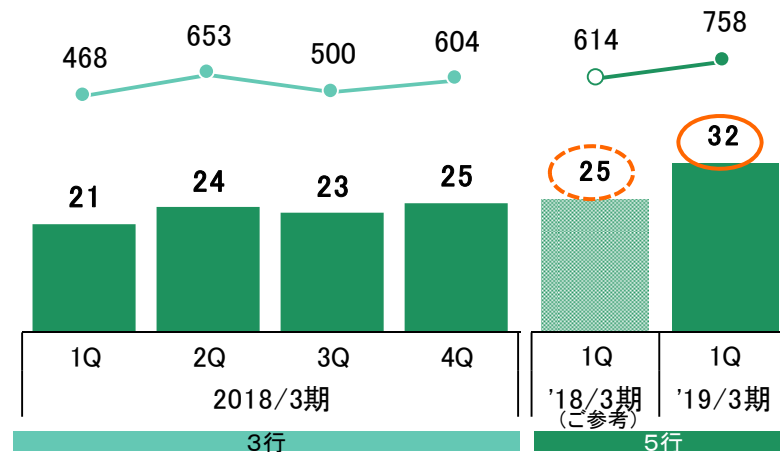
投資信託・ファンドラップ

(億円) ■ 販売手数料 ■ ファンドラップ ■ 信託報酬 ● 販売額



保険

■ 収益額 ● 販売額



*1. 資産形成サポート商品比率 = 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))
 *2. 社内管理計数

与信費用、不良債権

HD連結・銀行合算

与信費用

(億円)	3行			5行	
	2017/3	2018/3期		2019/3期	
		1Q		1Q実績	計画
HD連結 (1)	174	68	147	△18	△185
銀行合算 (2)	182	69	175	14	△130
一般貸倒引当金 (3)	98	20	66	23	
個別貸倒引当金等 (4)	84	49	108	△9	
新規発生 (5)	△199	△46	△154	△79	
回収・上方遷移等 (6)	283	95	262	69	
連単差 (7)	△7	△1	△27	△33	△55
うち、住宅ローン保証 (8)	20	6	11	△7	
うち、リそなカード (9)	△21	△7	△23	△6	
＜与信費用比率＞ (bps)					
HD連結*1 (10)	6.1	9.7	5.1	△2.0	△5.1
銀行合算*2 (11)	6.3	9.6	5.9	1.6	△3.5

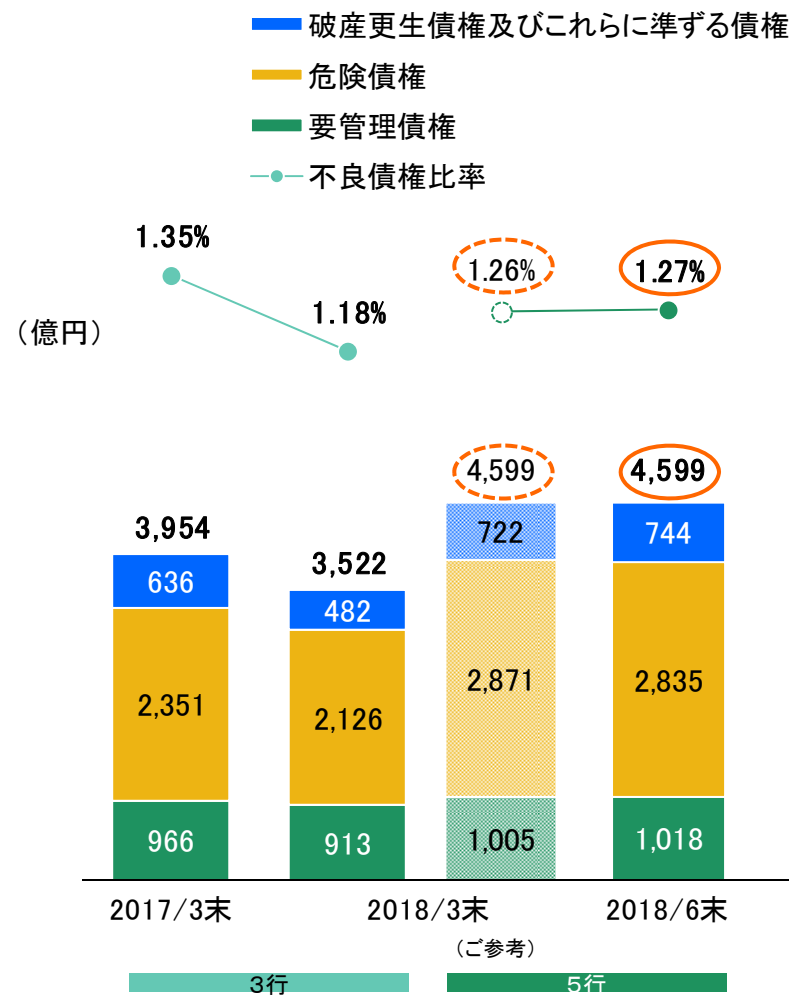
*正の値は戻入を表す

*1. HD連結与信費用／(連結貸出金＋連結支払承諾見返末残) (期首・期末平均)
(2019/3期 1Qの期首残高は、HD、KU、MBの各連結計数の合計)

*2. 銀行合算与信費用／金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均)

不良債権残高・比率の推移(銀行合算)

(金融再生法基準)



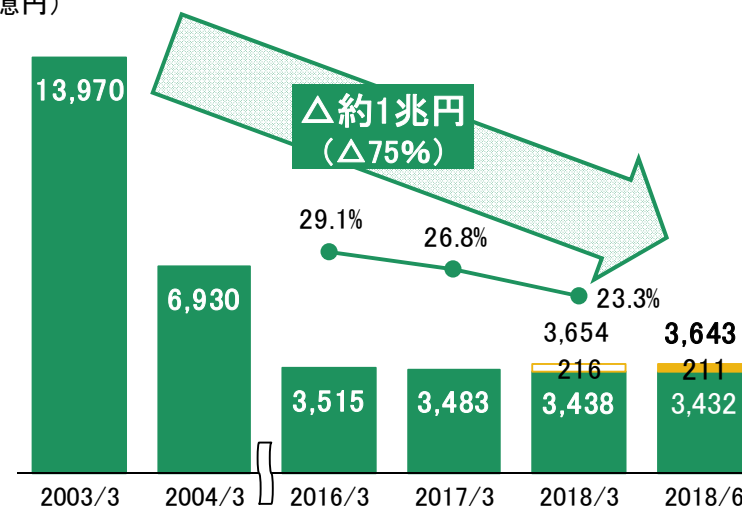
有価証券*1

(億円)	3行		5行		評価差額
	2018/3末	2018/3末	2018/6末		
その他有価証券 (1)	24,012	29,181	29,480	7,008	
株式 (2)	3,438	3,654	3,643	7,152	
債券 (3)	12,144	15,327	14,793	29	
国債 (4)	2,143	3,251	2,877	△5	
(デュレーション) (5)	8.0年	6.5年	6.9年	-	
(BPV) (6)	△1.7	△2.1	△2.0	-	
地方債・社債 (7)	10,001	12,075	11,916	34	
その他 (8)	8,429	10,199	11,043	△173	
外国債券 (9)	3,122	3,892	4,319	△121	
(デュレーション) (10)	8.6年	8.4年	7.7年	-	
(BPV) (11)	△2.5	△3.1	△2.9	-	
(評価差額) (12)	6,494	6,728	7,008		
満期保有債券 (13)	20,467	20,571	20,692	485	
国債 (14)	15,655	15,655	15,605	375	
(評価差額) (15)	519	520	485		

政策保有株式

- 損益分岐点株価(日経平均ベース): 6,200円程度
- 2018/6期 削減額(上場分・取得原価): 11億円
売却益(同): 7億円
- 政策保有株式に関する方針の概要
 - 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減
 - 引き続き、保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証により判断し、中期的に普通株式等Tier1*2比「10%台」に削減方針
 - 2017/3期からの5年間で350億円程度の削減を計画

■ 政策保有株残高(KU,MB) ■ 政策保有株残高(3行) ● CET1(OCI除き)比 (億円)



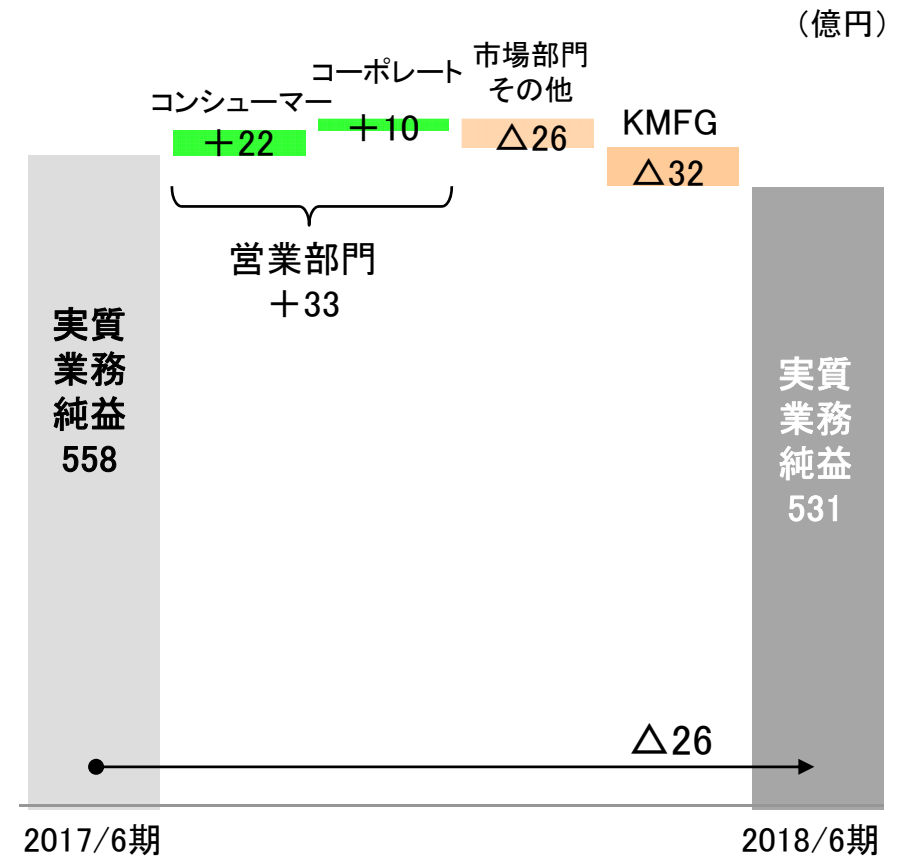
*1. 取得原価、時価のある有価証券 *2. OCI除き

(ご参考)事業部門別の損益概要 (1)

HD連結

実質業務純益は実質前同比26億円の減益

(億円)		2018/6期	実質前同比
営業部門	業務粗利益 (1)	1,163	+46
	経費 (2)	△748	△13
	実質業務純益 (3)	415	+33
コンシューマー事業	業務粗利益 (4)	569	+32
	経費 (5)	△397	△9
	実質業務純益 (6)	171	+22
コーポレート事業	業務粗利益 (7)	594	+14
	経費 (8)	△351	△3
	実質業務純益 (9)	243	+10
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	74	△26
	経費 (11)	△26	△1
	実質業務純益 (12)	47	△26
KMFG	業務粗利益 (13)	366	△27
	経費 (14)	△297	△5
	実質業務純益 (15)	68	△32
合計	業務粗利益 (16)	1,604	△6
	経費 (17)	△1,072	△19
	実質業務純益 (18)	531	△26



管理会計における
計数の定義

- 「営業部門」、「市場部門・その他」はKMFG連結子会社を除くHD連結子会社の計数
- 「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む
- KMFGの実質前同比は、2017/6期におけるKU、KO、MBの各社連結業績の合計値との比較

(ご参考)事業部門別の損益概要 (2)

HD連結 (KMFG連結除)

コンシューマー部門

- 実質業務純益は前同比22億円の増益
 - 住宅ローン関連収益が増加

コーポレート部門

- 実質業務純益は前同比10億円の増益
 - 主要ビジネスがいずれも増益を確保

【変動要因】

(億円)

【変動要因】

(億円)

